

知的障害教育における 各教科の授業づくり

「『令和型の日本型学校教育』の構築を目指して」では、インクルーシブ教育構築を目指し、学びの連続性が強調されています。しかし、これまで知的障害教育の歴史において、教科指導の在り方については議論がなされてきた経緯があります。そこで、今こそ、子供から出発する知的障害教育の授業づくりに立ち返り、学びの本質に注目して授業の在り方を検討していく必要があるのではないのでしょうか。一緒に湯浅先生と学び合いましょう。



広島都市学園大学 教授

湯浅 恭正 氏

〈プロフィール〉

専門分野は、特別支援教育、教育方法学。主な著書に、「教師になるための特別支援教育（共著）」「障害児授業実践の教授学的研究」等、ほか多数。大阪市立大学教授、中部大学教授等を歴任。子供の学びを中心にした授業づくりを探究している研究者である。

日程

令和3年8月6日（金）

時間

13:30～15:00

方法

ZoomでのWeb講演会

※申込後、Zoomの具体的な手順、ID・パスワードを教えます。

対象

特別支援学校・特別支援学級の教員をはじめ、
特別支援教育に関わる皆様

申込

HP または 申込フォームより（7月30日締切）

参加費
無料



申込はこちら！

静岡大学教育学部 附属特別支援学校
Fuzoku Special needs education

〒420-0885 静岡市葵区大岩町1番15号
TEL:054-247-2811 FAX:054-247-2812

担当:研究部 加茂聡